

平成30年度 事業報告書

一般社団法人日本義肢協会の平成30年度の活動等は次のとおりである。

I 協会の運営

- 1 定期総会の開催 平成30年5月19日(土) 於：広島県
 - ・平成29年度事業報告、同決算報告承認の件
 - ・平成30年度事業計画、同収支予算案承認の件
 - ・新常務理事の選任の件

- 2 理事会の開催 平成30年4月23日(月)(臨時理事会) 於：義肢会館
 - ・新理事の選出

平成30年10月27日(土)(通常理事会) 於：義肢会館

 - ・定款の変更、運営規約の改定他
 - ・平成30年度事業(前期)実施状況の報告他

平成31年2月19日(火)～21日(木)(みなし理事会)

 - ・内閣府宛公益目的支出計画変更認可申請を提出する件

平成31年3月23日(土)(通常理事会) 於：義肢会館

 - ・平成30年度事業実施状況の報告他
 - ・平成31年度定期総会の議案に関する審議等

II 事業の実施状況

1 専門委員会の活動

1) 研修委員会

① 委員会開催 第1回 平成30年7月13日(金)

② 補装具製作事業者管理者等セミナーの開催

・日時 平成30年7月13日(金)～14日(土)

・場所 国立障害者リハビリテーションセンター学院

・テーマ(6題) ・働き方改革を含む国の動向

・小児筋電義手の最新動向について

・完成用部品の機能区分について

・補装具の基準額や完成用部品の指定、補装具借受けの導入等に関する最新情報について

・補装具製作事業者における人事・労務管理について

・人事・労務管理に関する意見交換、グループワーク等

・講師 6名 ・参加者 43名

③ 地方セミナー開催に対する支援

・北海道支部 : 「臨床現場に活かす方法」

・東北支部 : 「生活を支える義肢装具・今後の義肢装具士の役割と課題」
「臨床に活かす」

・東京支部 : 「義肢装具士業務における自己評価」

・中部支部 : 「側湾症と装具療法セミナー」

・近畿支部 : 「スポーツ義足の基礎知識」

・九州・沖縄支部 : 「小児の装具療法」

2) 広報委員会

- ① 委員会開催 第1回 平成30年4月14日(土)
第2回 平成30年7月7日(土)
第3回 平成30年10月6日(土) WEB会議
第4回 平成31年1月12日(土) WEB会議
- ② 協会誌の編集・発行(4月、7月、10月、1月)
- ③ 義肢装具士資格制度に係る啓発普及推進事業の実施
 - ・義肢装具士証の交付(平成31年3月31日現在交付数: 209社 2,154名)
- ④ ホームページの運営管理等

3) 補装具委員会

- ①補装具費支給制度における適切な判定業務に関する調査研究について
 - (協議事項) 補装具支給制度に関する実態調査について(テクノエイド協会)
 - ・第1回検討委員会 平成30年9月6日(木)
 - ・第2回検討委員会 平成31年1月23日(水)
 - ・第3回検討委員会 平成31年3月11日(月)
- ②第1回補装具委員会の開催 平成31年2月16日(土)
 - (協議事項) ・補装具基本工作法の見直しについて
 - ・テクノエイド協会検討委員会の報告
- ③国立障害者リハビリテーションセンター主催「国際セミナー」への参加
 - ・平成31年2月16日(土) 日本未来科学館で開催
 - ・参加者12名
 - ・テーマ 「リハビリテーションにおける多職種連携と人材育成」

4) 治療用装具特別委員会

社会保障審議会医療保険部会、治療用装具療養費検討専門委員会における「治療用装具に係る既製品のリスト化」について対象となる既製品の選定を行った。

① 委員会開催 第1回 平成30年6月16日(土)

② 既製品装具のリスト収載検討WGへのオブザーバー参加

平成30年9月5日厚生労働省にて開催

③ 既製品治療用装具の算定方法の調査実施

療養費での装具の適正価格算定のための会員向け調査

(現行の既製品装具49品目について全会員を対象に販売価格調査を実施)

調査時期 平成30年9月21日～10月31日(回収率:90%)

④ 第3回WGで検討される20品目の製品を選定し12月6日に厚労省へ提出

⑤ 義肢装具士の1時間当たりの人件費、関連経費の調査実施

調査時期 平成30年12月20日～平成31年1月10日

(各支部支部長及び治療用装具特別委員会委員を対象に調査を実施)

⑥ 第2回WGで保険者より既製品装具の価格設定について検討するよう要望があり、次回以降議題として取り上げられる見込みとなり、日本義肢協会として価格に対する基本的な考え方をまとめ事前に厚労省保険局に説明資料として提示(平成31年1月31日)

⑦ 既製品装具のリスト収載検討第3回WGへのオブザーバー参加

平成31年3月20日厚生労働省にて開催

5) 倫理委員会

本年度の開催はなし

6) 支部長等連絡協議会

第1回 連絡協議会開催 平成30年9月15日(土)

第2回 連絡協議会開催 平成31年2月23日(土)

7) 義肢装具分野3団体連絡協議会

日本義肢協会、日本義肢装具士協会、日本義肢装具学会の役員が出席

第1回 平成30年9月15日(土) 義肢会館

・ ISPO2019 世界大会への支援について

第2回 平成30年11月9日(金) 名古屋国際会議場

・ ISPO2019 世界大会への支援について

第3回 平成31年3月23日(土) 義肢会館

2 「日本義肢協会賠償責任保険制度」事業

別添資料1参照

・ 加入者：会員事業所の全従事者〈常勤者〉 平成30年度 275社 4,719名

・ 保険事故協議件数 11件

(内訳) 事故認定件数3件、審査継続中5件、保険金の支払い対象外3件

・ 保険給付額 5,513,794円

3 障害者の社会参加推進のための各種大会等の協力

1) 全国障害者スポーツ大会の協力

平成30年10月13日(土)から10月15日(月)まで福井県で開催された第18

回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」における車椅子・補装具の

修理業務等につき、主催者(福井県)の要請を受け、協会中部支部より技術者を派

遣し大会の円滑な運営に協力した。

2) 中央職業能力開発協会が行う技能検定試験の協力

平成30年度「技能検定試験」の検定委員の協力につき、「義肢製作」及び「装具製作」の委員に当協会より6名の委員を派遣し、当該試験の円滑な実施に協力した。

4 義肢装具士養成校卒業生の顕彰

義肢装具養成校において、学業に専念し優秀な成績を修め、義肢装具士として将来を嘱望され医療の普及高揚に寄与することが期待される学生に対し、学校長の推薦を得て、次の9校の卒業生(10人)に授与した。

- 専門学校日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科
- 熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科
- 人間総合科学大学 保健医療学部 義肢装具学専攻課程
- 神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科(2人(4年制1人, 3年制1人))
- 西武学園医学技術専門学校 東京新宿校 義肢装具学科
- 北海道ハイテクノロジー専門学校 義肢装具士学科
- 北海道科学大学 医療工学部 義肢装具学科
- 新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立支援学科
- 広島国際大学総合リハビリテーション学部 義肢装具学専攻

5 日本義肢装具学会学術大会及び日本義肢装具士協会学術大会の協力等

関係団体が行う学術大会等について、義肢装具製作分野の発展・振興に寄与することから当該団体の要請に応え、役員及び会員の出席・参加等所要の協力を行った。

1) 一般社団法人 日本義肢装具学会 第34回学術大会の協力

- ・平成30年11月10日及び11日 名古屋市 名古屋国際会議場において開催
- ・大会テーマ:「長寿を支える義肢装具・支援機器」
- ・大会及び各セッションへ役員及び会員が出席・参加

2) 公益社団法人 日本義肢装具士協会 第25回学術大会の協力

- ・平成30年7月21日及び22日 札幌市 札幌コンベンションセンターにおいて開催
- ・大会テーマ：「義肢装具の進化と真価」
- ・大会及び各セッションへ役員及び会員が出席・参加

6 国際義肢装具協会世界大会（ISPO）神戸大会への協力

国際義肢装具協会世界大会（ISPO）が令和元年10月5日～8日にかけて神戸コンベンションセンターで開催されることに伴い財政面での協力を行った。

7 国内情報の収集

国及び関係行政機関等から、補装具製作に係る各種の情報・資料の収集を行い、会員に対し周知の徹底に努めた。

8 その他

1) 会員名簿の作成・発行

2) 価格表（平成30年度改訂版）の作成、印刷、配付

- ・障害者総合支援法における平成30年度価格表（含・完成用部品関係）改訂版を冊子に編纂して全会員に送付。

以上